

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	南流山センター施設整備改修事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	05	05	01	53
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	公民館				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もがができる生涯学習の推進		主管課長	鶴巻 浩二				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	南流山センター利用者	意図	施設利用者が安全で快適に利用できる状態にする。
事業内容	施設利用者に快適で安全な施設利用を提供するため、施設整備を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	南流山センターは、昭和56年に開設した施設である。平成15年度に屋上防水工事、平成19年度にトイレ・調理室改修工事などの改修を実施している。平成27年度には外壁タイル面改修を実施したが、改修箇所以外の部分で外壁タイルの剥がれ落ちを防止するため、平成30年度に外壁改修工事を実施した。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	満足度調査の総合満足度で4段階評価の3以上			100	%	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

外壁の剥落防止工事により施設利用者への安全性が高まった。

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

平成27年度に外壁タイル面改修を実施したが、改修箇所以外の部分で外壁タイルの剥がれ落ちを防止するため、平成30年度に外壁改修工事を実施した。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)			17,411,680
事業費(b)(円)			15,500,000
うち一般財源			15,500,000
職員給与費(c)(円)			1,911,680
人役・職員(人)			0.29
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	平成29年度に外壁タイルの剥落を確認したため、その防止策として平成30年度に外壁改修工事を実施する。	③取組における課題(Check)	施設が老朽化しているため、計画に位置づけて整備を進めることが大切である。
②H30に実施した取組(Do)	外壁タイル面を樹脂で覆いアンカーピンを躯体に固定する特殊工法により安全性が高まった。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	屋上防水工事や変電設備の更新工事等も計画に位置付けで実施する。